未臨界実験装置室	建物	北海道札幌市北区	729千円
電子科学研究所研究棟(A)	建物	北海道札幌市北区	43,105千円
室蘭臨海実験所宿舎	建物	北海道室蘭市	702千円
室蘭臨海実験所宿舎	土地	北海道室蘭市	6,009千円
登別教育研究センター	土地	北海道登別市	265,121千円
紋別流氷研究施設	土地	北海道紋別市	39,400千円
紋別流氷研究施設艇庫	土地	北海道紋別市	2,490千円
紋別流氷研究施設第１宿舎	土地	北海道紋別市	5,160千円
紋別流氷研究施設第２宿舎	土地	北海道紋別市	6,070千円

②　減損の認識に至った経緯

電気牧柵

使用環境の変化に伴い利用可能範囲が大幅に減少したため、減損を認識しております。

沈設植生ブロック

倒壊し使用できない状態であるため、減損を認識しております。

未臨界実験装置室、電子科学研究所研究棟(A)

使用しないという決定に基づき取り壊すこととしたため、減損を認識しております。

室蘭臨海実験所宿舎、登別教育研究センター、紋別流氷研究施設

将来の売却処分が予定されており、使用実績が著しく低下しているため、減損を認識しております。

③　減損額の内訳

用　途	種　類	うち損益計算書に計上した金額	うち損益計算書に計上していない金額
電気牧柵	構築物	—	2,158千円
沈設植生ブロック	構築物	—	3,669千円
未臨界実験装置室	建物	—	729千円
電子科学研究所研究棟(A)	建物	—	43,105千円
室蘭臨海実験所宿舎	建物	—	702千円
室蘭臨海実験所宿舎	土地	—	4,365千円
登別教育研究センター	土地	—	247,204千円
紋別流氷研究施設	土地	—	36,583千円
紋別流氷研究施設艇庫	土地	—	2,489千円
紋別流氷研究施設第１宿舎	土地	—	4,038千円
紋別流氷研究施設第２宿舎	土地	—	5,405千円

※電子科学研究所研究棟(A)については、減損を認識後、除却処理を行っております。

④　回収可能サービス価額の算定方法

電気牧柵

回収可能サービス価額として使用価値相当額を採用しております。使用価値相当額については、当該資産の帳簿価額に当該資産につき使用が想定されていない部分以外の部分の割合を乗じて算出した価額としております。

沈設植生ブロック

倒壊し使用できない状態であるため、回収可能サービス価額は、使用価値相当額（０円）により算定しております。

未臨界実験装置室、電子科学研究所研究棟(A)

取り壊しが予定されていることから、回収可能サービス価額は、使用価値相当額（０円）により算定しております。

室蘭臨海実験所宿舎、登別教育研究センター、紋別流氷研究施設

建物については、取り壊しが予定されていることから、回収可能サービス価額は、使用価値相当額（０円）により算定しております。

土地については、回収可能サービス価額は、正味売却価額により算定しております。正味売却価額は、国からの承継時（平成16年度）における鑑定評価額に対し、地価公示価格及び地価調査基準地価の推移による時点修正を行った額としております。

⑵　減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）

①　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途	種　類	場　所	帳　簿　価　額
乳製品実習施設	建物	北海道札幌市北区	10,463千円
電子科学研究所研究棟(B)	建物	北海道札幌市北区	48,025千円
電子科学研究所管理棟	建物	北海道札幌市北区	9,123千円
学生食堂はるにれ	建物	北海道札幌市北区	134,946千円
ポプラ会館	建物	北海道札幌市北区	35,150千円
大滝セミナーハウス宿舎	建物	北海道有珠郡大滝村	1,009千円
電話加入権	電話加入権	北海道札幌市北区	9,048千円

②　認められた減損の兆候の概要

建物については、利用率、使用実績が低下したため、減損の兆候を認めております。

電話加入権については、市場価格が著しく下落したため、減損の兆候を認めております。

③　減損を認識するには至らなかった根拠

建物については、今後において建物の利用計画があり、使用が想定されていることから、減損を認識しておりません。

電話加入権については、回収可能サービス価額（使用価値相当額）が、帳簿価額を上回っていることから、減損を認識しておりません。

（損益計算書に係る注記事項）

附属病院において法人設立時に国から承継され、資産見返勘定を立てて会計処理を行っている診療機器等に係る当期の資産見返勘定戻入額は51,779千円であります。